

「人材」でお困りなら

株式会社 ミヨシ・ロジスティクス
042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

国字制作: 株式会社タイムエヌシーデー

KANAKEI
かながわ経済新聞

Bus
<http://www.bus>
042-730-7886

2017年

採用からの人材教育

今回は「安全の基本ルール」と緊急時の対応」についてお話しします。

最初に安全の基本ルールです。弊社で教える実作業時の安全基本ルールは左記の4点です。

① つり荷・垂れてくるものの下には絶対に入らない

② 回転するもの・動いている物には絶対に手を触れない

③ 動くところには絶対に入らない

④ 異列作業は絶対に行わない

これら4点を教育していただきますが「これらも当たり前のごとく、こんなものは今さら教育する必要はない」と思われるかもしれません。しかし、実はこれらは現場では守られないことが多いのです。その要因としては、人は必ずミスをするものだからです。その代表例が、錯誤現象やうっかり・ぼんやり・近道行為、省略行為(ヒューマンエラー)などです。これらを再認識するためにも教育する必要があります。また、入職時に限らず継続的に永久的に行っていきます。何のために安



吉田英訓の 着眼大局 着手小局
～人と企業～

全の基本ルールがあるのかも、併せて教育します。

次に緊急事態発生時の対応についてです。

緊急時対応はさまざまですが、入社時に教えることは一つです。それは、作業中に事故・災害・異常事態が発生した場合は、左記の行動を取るということです。

▽止める(作業の手を止めましょう)

▽呼ぶ(管理者を呼びましょう)

▽待つ(自己判断せず、指示を待ちましょう)

これらが守られないと二次災害や大きなケガにつながる可能性があります。作業の手を止めないことで悪い状況が進行してしまう可能性があります。管理者を呼ばないことで良い状況に変わることは決してありません。さらに、指示を待たないことは、正しい判断ができず大きな災害につながる可能性があります。

いすれにせよ、ポイントは継続的にきちんと教育できるかです。(ミヨシ・ロジスティクス代表取締役/南西ファミリー長)

かながわ経済新聞
2017. 8月号
吉田英訓の
連載記事が掲載されました。

